

履歴書・教育研究業績書の記載要領

【共通】

1. 黒インク又はボールペン等を使用し、楷書体で記載すること。又、パソコン等を使用する場合は本学所定の様式、本要領に従って作成し、氏名は自署のこと。
2. 年月日はすべて西暦で記載すること。

【履歴書】

1. 採用後に重大な経歴詐称が判明した場合、「学校法人浪商学園 就業規則」の規程により、懲戒処分の対象となるので、正確に記載すること。
2. 生年月日欄の満年齢は、採用予定年月日時点の年齢を記載すること。
3. 学歴欄は、原則として大学以上を記載すること（研究生等も記載すること）。又、医師免許、教員免許等を有する場合は、この欄の最下段に記載すること。
4. 学位欄は、学位名の次に当該学位を授与した大学名を記載すること。尚、博士の学位を有する場合は、修士の学位名等の記載は省略すること。

(記載例)

学 位	〇〇〇〇年〇月	博士(〇〇学) / 〇〇大学
-----	---------	----------------

5. 職歴欄は原則として常勤の場合のみとし、職名等を明確に記載すること。ただし、学歴と職歴を通じて空白となる期間があり、その間に非常勤講師等の職歴がある場合には記載すること。
6. 賞罰・処分歴等欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰、又は職務上の表彰や懲戒処分（研究費の不正受給等に係る処分）を記載すること。又、過去に学生に対するセクシュアル・ハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分、若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な自由を必ず記載すること。（令和4年11月22日付け文部科学省高等教育局長通知に基づき記載を要する事項）

【教育研究業績書】

1. 教育上の能力に関する事項

各項目について、特記事項のない場合は「特記事項なし」と記載すること。

1 教育方法の実践例

大学、短期大学、大学院等の高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るために工夫を凝らしたわかりやすい授業を実施している場合、その内容を記載すること。

(例) ○マルチメディア機器を活用した授業方法等

○学生の授業外における学習促進のための取り組み等

○講義内容のWEB上での公開等

○一斉授業、グループ学習を組み合わせた課題解決型授業の取り組み等

2 作成した教科書、教材

作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（後の「著書、学術論文等」との重複可）を記載すること。

3 教育上の能力に関する大学等の評価

学生の学習意欲を高め、理解を図るために行っている教育上の取り組みなど（授業や教職指導などを通じた取り組み）に対して、大学等から特に高い評価を受けた場合に記載すること。

(例) ○各大学における自己点検・評価での評価結果

○教員相互による評価結果

4 実務の経験を有する者についての特記事項

教員の学校現場における教育に関する取り組み

(例) ○大学、及び短期大学から受け入れた教育実習生等に対する指導

○小学校、中学校、高等学校、特別支援学校での教育実績

○学校評議員等の委員の経験

○大学での教育活動に特に資すると思われる学校現場における取り組み

5 その他

○上記に該当しないものを記載すること。

○これまでに大学等において教職科目担当の経験を有する場合、文部科学省教職課程認定に係る教員審査において、単独で担当可とされた教職科目があれば記載すること。

2. 職務上の実績に関する事項

1 資格、免許

○教員免許及び資格等で、当該授業科目に関連すると思われるものについて記載すること。

2 学校現場等での実務経験

○大学や教育研修センター等での指導や研究会等での研究発表、校内研修での実践発表等を記載すること。

3 実務の経験を有する者についての特記事項

○担当予定の授業科目と関連のある学校現場等における実務経験（職歴）の期間、職務内容、役割、成果などを記載すること。

4 その他

○上記に該当しないものを記載すること。

3. 研究業績等に関する事項

(1) 著書、学術論文等の名称

○著書、学術論文、教育実践記録等、その他の項目ごとに最近のものから順に記載すること。

(2) 単著、共著の別

①共著で筆頭者の場合は共（筆頭）と記載すること。

②1冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても「共著」と記載すること。

(3) 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称

①学会誌等は、その学会と雑誌の名称の他、巻、号まで記載すること。

②著書、論文については、該当のページを記載すること（例：pp. ○○～○○）。尚、共著の場合はその分担部分のページ数も記載すること。

(4) 概要

①著書、学術論文、教育実践記録等の概要を簡潔に記載すること。

②共著の場合は、本人の氏名を含めて著者の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順序で記載すること。尚、著者が多数の場合は5名程度を記載し、他○名と記載すること。

③共著の場合は、本人の担当部分を明示すること。

以上